

「POPツール類及び外装材の製造に伴う  
CO<sub>2</sub>排出量のカーボン・オフセット」  
に関する実施報告書

平成 29 年 6 月 21 日

株式会社ウェストボックス



# 1. 実施報告

## 1. 1 実施の対象

表 1.1 に示す対象物において、カーボン・オフセットを行った。

表 1.1 対象物

対象物名称	POPツール類及び外装材の製造に伴うCO2排出量
対象の概要	2016年度にカルネコ株式会社が、サービスの提供に伴って製造または仕入れを行なった、POPツール類及び外装材の製造に伴うCO2排出量
オフセット対象とする活動	<p>2016年度に製造または仕入れを行なったPOPツール類及び外装材の製造に伴うCO2排出量のうち、カルネコ株式会社が管理・把握出来る以下の排出源を、オフセットの対象活動として設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>POPツール類の原材料調達及び生産に係るCO2排出量 (1127.1t-CO2)             <ul style="list-style-type: none"> <li>-POPツール類を構成する原材料の調達に伴うCO2排出量</li> <li>-同上の輸送 (500km 程度の輸送距離と仮定) に伴うCO2排出量</li> <li>-POPツール類の印刷・組立等に伴うCO2排出量 (工場で使用する電力、化石燃料、廃棄物、廃水等、PS版、インキ)</li> </ul> </li> <li>外装材の製造に伴うCO2排出量 (207.5t-CO2)             <ul style="list-style-type: none"> <li>-外装材の製造に伴うCO2排出量</li> </ul> </li> </ul> <p>排出量合計：1,336t-CO2 (小数点以下切上し合算)</p> <p>※但し、顧客よりの預かり品などについては、一部対象から外している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① パーツ単位での原料×素材毎の標準単量×使用量×稼数              ② 工場単位での加工エネルギー×製造稼数/工場での製造稼数全体×排出係数              ※把握困難なため、工場全体のエネルギー量から算出</p> <p>① パーツ単位で主たる素材構成を把握し、重量を累することで算出              ② 工場全体での使用量を把握し、出荷額から按分して把握              ③ 工場全体でのエネルギー使用量、廃棄物発生量を把握し、出荷額から按分して把握</p> <p>Copyright 2016 Watanabe, Inc. Ver.1.0</p> </div>
対象とする期間、人数、距離等の情報	バウンダリ、条件設定等の詳細は別途、エクセルでのCO2排出量算定報告書に記載するが、出荷数量の詳細は非公表のため、サマリーのみ記載する。

### カーボン・オフセットとは

市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等（以下「クレジット」という）を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることをいう。

（出典：環境省「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について（指針）」）

### 地球温暖化対策の喫緊性とは

世界の温室効果ガスの排出量は年々増加しており、今後も増大することが予想されています。こうした温室効果ガスの影響を最小限に抑える為には、早急に地球全体の温室効果ガス排出量を大幅に削減し、その濃度を安定させる必要があります。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）最新報告書（AR4 第四次評価報告書）では、“今後 20～30 年に温室効果ガス排出削減努力とそれに向けた努力が、より低い安定化濃度の達成に大きな影響を与える”としています。

（詳細は、「環境省 STOP THE 温暖化」パンフレットをご確認ください）

## 1. 2 情報公開ガイドラインに基づくカーボン・オフセット実施状況

表 1.2 及び 1.3 に示すとおりカーボン・オフセットを行った。

なお、実施においては、「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について（指針）」（平成 20 年 2 月 7 日環境省）、「カーボン・オフセットの対象活動から生じる温室効果ガス排出量の算定ガイドライン」（平成 23 年 4 月環境省）に基づき算定を行っている。

表 1.2 カーボン・オフセット実施状況①

クレジット タイプの説明	クレジットの種類	オフセット・クレジット（J-VER）他 ※詳細は別表添付
	認証プログラム名称	オフセット・クレジット（J-VER）制度 他 ※詳細は別表添付
	シリアルナンバー	JP-200-000-000-008-542～ JP-200-000-000-258-767（1113t）※連番ではない
クレジットの 調達期限 通知方法	クレジットの調達状況・無効化方法	・発行済み ・J-クレジット登録簿システム上で、無効化手続き ・三菱UFJリース株式会社より調達分
	クレジット調達期限・通知方法・頻度	2016 年度実施分として、三菱UFJリース株式会社より調達した、無効化済みクレジット 1113 t-CO <sub>2</sub> を使用する。クレジットの詳細や無効化時期については、クレジット毎に異なるため、調達状況については別表にて管理する。
プロジェクト 情報	プロジェクト名	北海道 4 町連携による間伐促進型 森林づくり事業 他
	プロジェクト実施国・実施地域	北海道 4 町（足寄町、滝上町、美幌町、下川町）他
	プロジェクトタイプ	森林吸収系、削減系
	プロジェクト概要	複数のプロジェクトにおいて創出されたクレジットを使用しているため、ここでは記載しない
	モニタリング期間	同上
	排出削減・吸収量	同上
販売価格・その他 支払いに関する 事項	商品・サービス当たりの販売価格	料金表に別途記載
	消費者の価格負担（料金上乘せ）有無	販売者負担の為、上乘せはなし
	その他支払いに関する事項	特になし

※カーボン・オフセットの取組に係る信頼性構築のための情報提供ガイドライン（Ver.1.0）

表 1.3 カーボン・オフセット実施状況②

クレジット タイプの説明	クレジットの種類	J-クレジット
	認証プログラム名称	J-クレジット制度
	シリアルナンバー	JC-400-000-002-373-190～ JC-400-000-002-373-489 (300t)
クレジットの 調達期限 通知方法	クレジットの調達状況・無効化 方法	・発行済み ・J-クレジット登録簿システム上で、無効化手続き 無効化日 2017年6月19日
	クレジット調達期限・通知方法・ 頻度	2016年度実施分として、株式会社ウェイストボックス管理口座において、2017年6月19日無効化手続きを行なった。なお、2016年度については、223t-CO <sub>2</sub> のみ使用したため、残分の77t-CO <sub>2</sub> については2017年度分に充当の予定。
プロジェクト 情報	プロジェクト名	KC0302 A 重油焚炉筒煙管ボイラーからガス焚貫流ボイラーへの更新による排出削減事業
	プロジェクト実施国・実施地域	日本・愛知県
	プロジェクトタイプ	削減系
	プロジェクト概要	A重油焚炉筒煙管ボイラーからガス焚貫流ボイラーへの更新による排出削減事業
	モニタリング期間	2013年4月1日～2016年7月31日
	排出削減・吸収量	1,607t-CO <sub>2</sub>
販売価格・その他 支払いに関する 事項	商品・サービス当たりの販売価格	料金表に別途記載
	消費者の価格負担（料金上乗せ） 有無	販売者負担の為、上乗せはなし
	その他支払いに関する事項	特になし

※カーボン・オフセットの取組に係る信頼性構築のための情報提供ガイドライン(Ver.1.0)

### (対象の排出量)

POPツール類 1,128t-CO2 (切り上げ)

全体	項目	単位	原単位 [kg-CO2/単位]	小計	
				量	CO2 [t-CO2]
	ツール原材料	kg	1.2	424,478	660.523
	エネルギー使用				340.662
	パーツ類輸送	tkm	0.2855		121.189
	インク PS版輸送	tkm	0.2855		4.745
	合計				1,127.118

外装材 208t-CO2 (切り上げ)

総合計	613,166
	427,086.4858
↑製品m <sup>2</sup> 総合計	207.4786148
	<b>トータル 208t</b>

2016年度排出量 合計 1,336t-CO2

### (クレジットの調達状況)

項目	クレジット量	備考
三菱UFJリース(株)より調達分	1,113t-CO2	償却済みクレジット
(株)ウェイストボックスより調達分	300t-CO2	2017年6月19日償却
必要量	-1,336t-CO2	
2017年度へ持ち越し分	77t-CO2	

2016年度調達量 合計 1,413t-CO2

2016年度使用量 合計 1,336t-CO2

2017年度持越量 合計 77t-CO2

## 添付資料

- ・国内における地球温暖化対策のための排出削減・吸収量認証制度 (J-クレジット制度) における無効化手続き実施内容

株式会社 ウェイストボックス 殿  
(口座番号: JP-100-20000-00001-00170-00)

11706190021  
2017年06月19日

J-クレジット制度管理者

### 無効化通知書

J-クレジット制度実施要綱3.2に基づく無効化申請の結果として、下記のとおり、J-クレジット登録システムに処理したので、お知らせします。

#### 記

トランザクション番号 JP-20000-00000-11774  
口座種別 J-クレジット用 無効化口座  
口座番号 JP-100-20000-00000-00400-00  
処理日 2017年06月19日

#### クレジット情報

項番	種別	クレジット特定番号	数量 (t-CO <sub>2</sub> )	省エネルギー量 (kl:原油換算)
1	KC	JC-400-000-002-373-190 ~ JC-400-000-002-373-489	300	15.8
2030202				

以上

#### 事業者記入欄

2016年度にカルネコ株式会社が、サービスの提供に伴って製造または仕入れを行った、POPツール類および外装材の製造に伴うCO<sub>2</sub>排出量をカーボン・オフセットするため。

以上